

社会福祉学専攻 博士課程前期

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本専攻博士課程前期では、以下の能力と資質を有する者を受け入れる。

- AP1 必ずしも学部で社会福祉を学んだ人だけでなく、関連領域で学んだ知識を社会福祉領域で活かすことができる能力を持っている人。
- AP2 大学学部レベルで修得する社会福祉の基礎知識を持っている人。
- AP3 大学学部卒業程度の社会福祉学的思考・判断力や実践力を有している人。
- AP4 社会福祉分野への関心が高く、具体的な研究や実践の課題を設定しようとする意欲を有する人。
- AP5 関心領域や課題について一定の専門用語を使つて的確に説明できる人。

上記 AP 1 と AP 2 は筆記試験によって、AP 3 ～AP 5 は口述試験及び提出書類によって評価する。